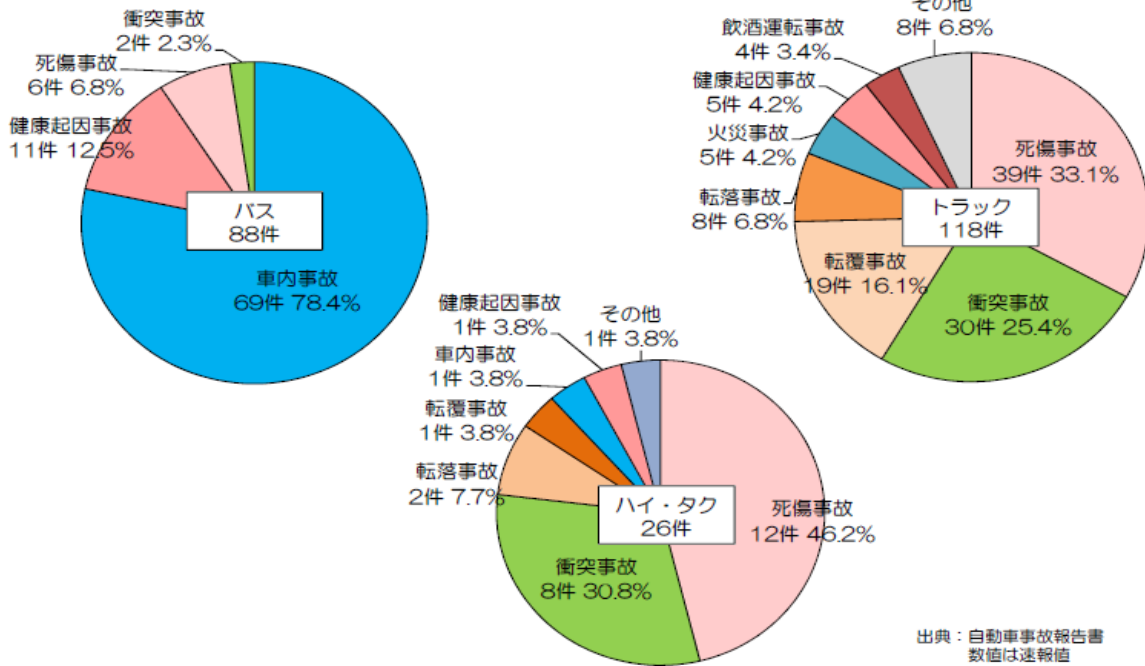




# 事故の種類別の発生状況（業態別） 〈中部運輸局管内〉



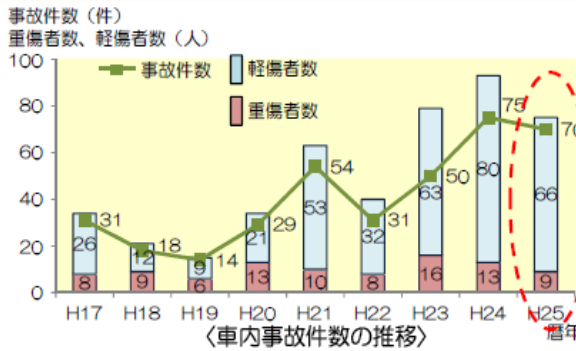
〈平成25年 事故の種類別の発生状況（業態別）〉

7

ハイ・タク、トラックに比べ、バスでは車内事故に占める割合が大きく、報告の78.4%を占める。

2014年3月18日中部運輸局「自動車事故防止セミナー2013」説明資料より

# 車内事故の状況 〈中部運輸局管内〉

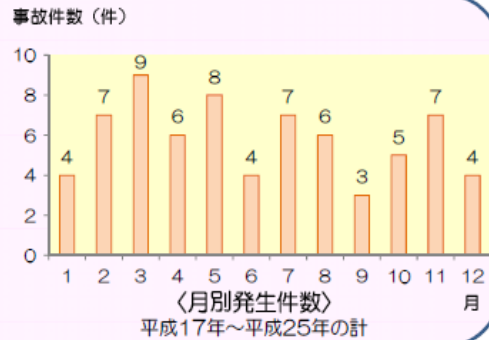


平成20年以降、増加傾向。  
平成25年は対前年-5件（-6.7%）。

重傷者は高齢者が多数を占める。  
※平成24年と平成25年の重傷者計22人中、  
高齢者20人（約90%）

重傷者数 (人)	90歳代	80歳代	70歳代	60歳代	50歳代以下
	1	13	6	1	1

※平成24年と平成25年の計。  
高齢者は65歳以上とした。

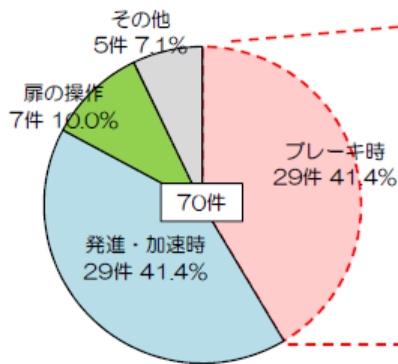


出典：自動車事故報告書  
平成25年の数値は速報値

14

※平成25年の事故件数70件の業態別内訳は、バス69件、ハイ・タク1件  
2014年3月18日中部運輸局「自動車事故防止セミナー2013」説明資料より

## 車内事故の特徴



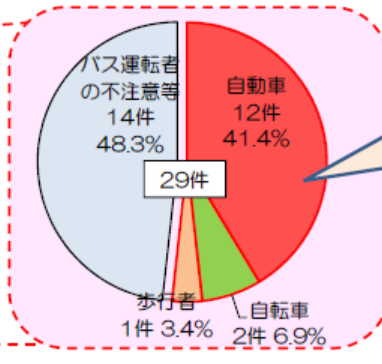
〈平成25年に発生した車内事故の発生要因〉

○ 車内事故は、バス等の運転者の過失によるものが多いが、一部、他車（者）の急な割り込みや飛び出しによるものもみられる。



事故防止には、他車（者）の協力が不可欠

「無理な割り込み」や「急な飛び出し」などによる急ブレーキが車内事故を誘発する要因となっている。



急ブレーキを作用させた事故のうち、他車（者）の要因も大きいと考えられるものが半数以上。



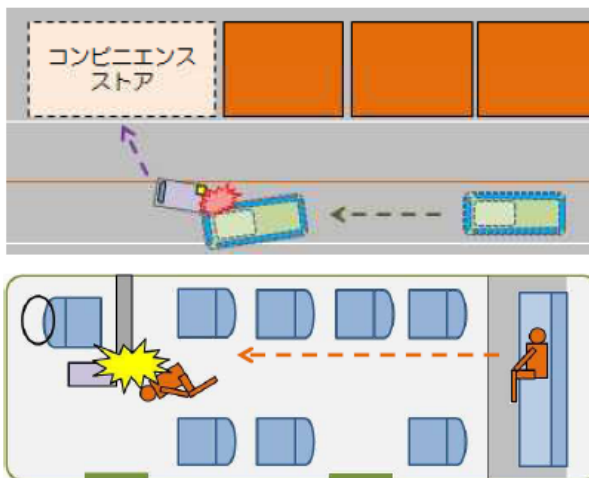
2014年3月18日中部運輸局「自動車事故防止セミナー2013」説明資料より

## 乗客が死亡した事故の事例（車内事故） 〈中部運輸局管内〉

事故発生：平成26年2月 午後3時頃

発生場所：愛知県常滑市

事故概要：路線バスが乗客3名を乗せ運行中、前方で停止した軽自動車に追突し、車内の乗客1名（女性 40歳代）が転倒。当該乗客は、頭を強く打ち、病院に搬送されたが死亡した。



一般的に・・・

- バス車内
  - 立席者のための手すり、料金箱等の構造物が多い。
- 最後部座席中央
  - 前方に座席がない。
  - つかまる場所がない。
  - その他の座席より、一段高くなっている。

2014年3月18日中部運輸局「自動車事故防止セミナー2013」説明資料より